



きんたろう倶楽部通信

3号

2006年4月23日
きんたろう倶楽部結成
12月の会員数:733名

人びとが暮らすために必要な森づくり。子どもたちがのびのび育つために必要な森づくり。それにはあなたの力が必要です。自然の恵み豊かな富山の里山を、いっしょに創りませんか。

2006年12月20日発行
きんたろう倶楽部事務局
〒930-0151 富山市古沢254番地
富山市ファミリーパーク内
TEL&FAX: 076-434-1316
URL: http://kintaroclub.net
E-mail: info@kintaroclub.net

▼人づくり部会では、森をフィールドとした環境教育についても理解を深め、具体的な手法を体得していくことが大切と考え、10月に「里山リーダー養成講座」の一環として、「プロジェクト・ウエット」として、「プロジェクト・ウエット」を体験し、指導者資格を取得できる研修会を開催した。フィールドは野生生物、ウエットは水がテーマで、いずれも森との関連を考えながら展開できる。講師に森環境教育事務所の森美文さんを招き、夜の交流会でも体験談や交歓で盛り上がった。2コース延べ参加者24人。きんたろう以外に遠く長野からも参加があった。

▼クマ出没が相次ぎ、緊急招集で出動しました。地元1000名を優に超えるひとたちに加わり、ブーンという草刈り機の合唱と共に数キロに及ぶ河原の草刈りが始まりました。背丈以上の草や木に轟

蘇える清水公園

小羽地区 清水記念碑公園整備

9月3日・9月16日/
下準備 会員19名参加
9月24日/133名参加
10月8日/16名参加
11月12日/26名参加

▼富山が爆撃されているというので、暗闇の中を高台にある清水公園（清水建設株創業者「喜助」の顕彰碑あり）に急いだ。すでに数組の家族が避難して来ており、用意周到にして床について眠っている子供もいた。富山あたりは延焼の明かりなのだろうくすんだ赤い空に火のついた油が（焼夷弾なのだが）そのように見えた。ツ・ツ・ツ・ツと落下して、そしてパツと閃光が拡がった。その度に「アレー 何処らへんだろか」という悲痛なざわめきの中で、母親に手をひかれた坊やはまるでプラネタリウムで観察しているかのように目を凝らしながらチチコマについていた。▼この清水公園は小羽小学校から歩いて7〜8分ほど登ったところにある。築山のような格好をしており、中央には立山連峰に向かって包喜翁「喜助」の記念碑が建立されている。眼下に神通川の清流を望み、上流は笹津橋方面から、下流は大沢野大橋方面まで一望することが出来る。そんなところだから遠くからでも子供たちが

地主さんも環境や景観に配慮され、くる年もくる年も竹林の除伐や周辺整備に苦勞されてきた。そのような状況を踏まえて村の中には仲間を募り竹炭づくりを楽しんでみてはどうか、という一石二鳥を狙った声も挙っていた。▼一方この公園の除草・清掃が年間を通して徹底して行われるようになっていた。かつては村の中にお世話をされていた方もおいでになったが、今ではどなたがされているのか不明のままであった。そんなある日の朝早く、清掃されている方々に偶然にもお会いすることができた。その方々は金銭的見返りなど

途中小木に関する専門家から様々な話が聞け、実際に鉋と下刈鎌で灌木を伐採する体験もできるという、一風変わった旅だった。自分たちが手入れした森で子や孫たちと先々一緒に遊ぶ夢を描いたのは、私人ではなかったのでは。

活動報告

「森を元気に、人を元気に」をスローガンに今年4月に結成したきんたろう倶楽部。5月の呉羽丘陵整備を皮切りに、11月までに25回の活動を実施し、延べ約600人の会員が汗を流しました。

▼13班に別れ、入山。荒れた竹林現場まで約20分歩く。雪になるかも、という冷たい雨が、時に激しく降る中、雨天決行の予告通り、作業決行。▼伐倒方向を確認し、声を掛け合い、テキパキ作業をする。▼かちかちやで足の踏み場もなかった竹林が別の場所のような変貌を遂げる。達成感。充実感。気持ちいい。参加の皆様お疲れ様。また一緒にやろ〜ぜつ！

▼参加の皆様は、おいしい芋煮を食べた後、おしゃべりしました。前日、試食会を開き練習したのですが、50人分となると「ピン」といので少し慌てました。結果は、皆様に「おいしかったよ」と言っていただけ嬉しかったです。

▼1931である。洪沢は昭和6年没とあるから3年前の揮毫ということになるのか。癖の無い実に穏やかで素直な書体で書かれている。それにしてもこんな寒村にこんなふうにある。洪沢栄一」の書蹟があるとは驚きであり衝撃を享ける。▼小羽村八幡宮の春季例祭には黒と赤の二頭立ち獅子舞が奉納されてきているが（近年、人手不足で中断している）、清水記念碑での獅子舞は欠かしたことはない。記念碑は小羽校下の誇りであり、未永く後世に語り継いでいかなければならない財産である。▼先般きんたろう倶楽部をはじめ関係団体の方々や校下の皆さんの協力を得て第一回除伐が実施されたが、丁度その前日に「清水記念碑公園入り口」と白地に紺字の立派な看板が県道脇に建てられた。これも奉仕によるものである。



小羽地区センター前に集いし作業の手順説明を聞く

小羽総代 新畑彬
(きんたろう倶楽部 監事)

熊野川クマ対策草刈りに協力 10月8日/150名参加



本田 恭子
(人づくりチーム)

緑化推進大会を支援 (ネイウッドフェスティバル) 10月22日/250名参加



長谷川 由美
(情報づくりチーム)

▼10月22日(日)に婦中町大瀬谷で開催されたネイウッドフェスティバルに友人と共に参加しました。一昨年の台風爪あとに植樹をすることが今回の作業でしたが、主催された婦負森林組合の方たちを始め、漁業組合の方や一般の方も多く参加されました。急斜面の作業に苦戦しましたが、終わってから活動場所を見上げる時きれいに植えられた新しい命が並んでいました。良い汗をかいた後には地元の方の心遣いで鍋もいただきました。活動を通して地域で力を合わせて森づくりをすることの素晴らしさを改めて感じられたように思います。

石原 佳奈

森林体験バスツアーを後援 (森林政策課主催) 11月5日/68名参加



篠田 雅子
(組織づくりチーム)

▼森林体験バスツアーは、有峰の巨木を愛でながら散策、加工センターで間伐材の加工現場を見学、

呉羽丘陵竹林整備を共催 (公園緑地課主催) 11月12日/145名参加



湯野 秋子

途中木に関する専門家から様々な話が聞け、実際に鉋と下刈鎌で灌木を伐採する体験もできるという、一風変わった旅だった。自分たちが手入れした森で子や孫たちと先々一緒に遊ぶ夢を描いたのは、私人ではなかったのでは。



ご参加のお申込みは事務局まで
076-434-1316
info@kintaroclub.net

2007年の活動に向けて みんなで話し合おう!

1月17日(水)
午後6:30より
ファミリーパーク自然体験センターホールにて

きんたろう倶楽部「森・人づくり」冬季計画表

日程	講座名	内容
2007		
2月中旬	救急法講習会	心肺蘇生法と応急処置
2月25日(日)	雪上観察会	雪の里山で自然観察
3月11日(日)	安全講習会	チッパー・シュレッダーの取り扱い